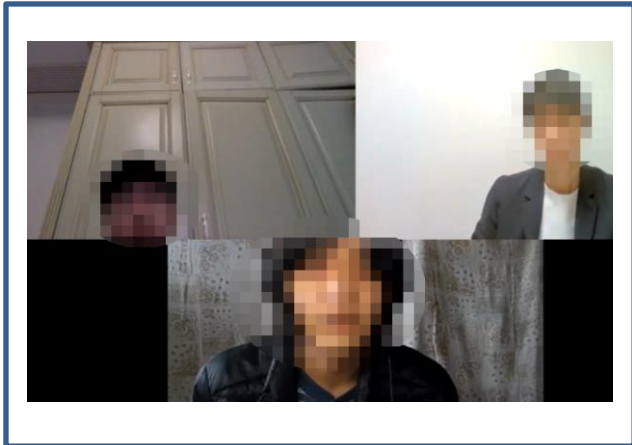


OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) N.R.
所属 (School) 工学域 物質化学系学類
学年 (Grade) 2年
留学先 (Name of overseas institution)
Monash College
留学期間 (study abroad period)
2021/2/8~2021/3/5
記入日 (Date) 2021/3/16

留学レポート Study Abroad Report

私は2021年2月8日から3月5日までの四週間、モナシュ大学が主催する Monash English Program に参加しました。以下その目的や行った事、内容、成長したと感じること、良かった点などご報告します。

現在私は、大学院に進学することを考えています。またここ一年は、その際に海外も選択肢として考えるようになっていました。しかしながら私には海外を訪れた経験がなく、リスニングとリーディング、ライティングについては、大学受験での勉強と大学での授業によってある程度できるようになっていたのですが、スピーキングの面が非常に大きな弱みとなっていました。そこで今回のプログラムを知り、これがスピーキングを鍛えるための場としてよいものになるのではないかと考えました。本年度は大学が非同期でのオンライン授業を主としていたこともあり、英語での発話の練習をする場がなく、これも理由の一つになったかと思います。

四週間のプログラムの中では、日本、中国、オーストラリアからの参加者、そして Janet Bougeois, Amanda Ancell 両先生と一緒に、英語で四技能のすべてを行うことになりました。初めの週は、自己紹介的なことや、聞き取って書くこと、画像や動画から考えられることを伝えることなどをしました。その中で、何が理由でそう言うのか、といったことに自覚的になるための訓練もしました。後の週になるにつれ、より長時間、少人数で行う会話や討論を行うようになりました。ある問題についてどう思うか、なぜそう思うか、見た動画から考えたこと、宿題で知った内容、多岐にわたることから参加者の皆さんや先生と話しました。リスニングについても、現地のニュースや問題になっていることなど日本で聞いたものより速く長いものに慣れていきました。宿題として毎日のように聞いていたことも効果をあげたのかと思います。ライティングの面では比較的基礎的な文法事項、様々な単語やフレーズを用いた文章の作成に始まり、英語での申し立てや、数百語の実践的な文章作成、よりアカデミックな書き方に関する知識の習得など比較的高度なものまで一通り行いました。

成長した点に関しては、やはり一番には話す能力であるかと思うと思います。僕を含め、日本で暮らしているとそもそも英語での発話を練習する場所や機会というのはあまりなく、それを毎日のように行えたことなどで、多少なりとも話し慣れることができたと感じています。またその他についても、長期休業という勉強の途切れがちなタイミングにも継続の大事な科目である英語の練習ができたことで、単純に、力を衰えさせず、むしろ全体的にも向上させられたとも感じます。

よかった点としては、第一にすべてを英語で行わざるを得ない点が挙げられるかと思うと思います。日本の大学などであれば、英語の授業であってもクラスの人との会話や情報伝達、その他のことなども英語でこれをしようという以外には日本語で行ってしまうもので、実際に英語の練習をしている時間は存外少ないということが往々にしてあるかと思うと思います。この点このようなプログラムでは、むしろ英語が唯一の、意思の伝達をなす方法になるため、常に英語を考えることができます。第二には、ある面で気兼ねが全くいらぬということが挙げられるかと思うと思います。皆さんの中にも、学校の授業では友達やクラスの人に反対意見を述べるのが躊躇われる、今後どう思われるか気になる、成績や GPA を気にしてあまり強く出られない、といった人がいるかもしれません。しかし今回限り、海外の大学で知らない人と、となると、この点で不安の種がなくなるため、普段よりも前のめりに英語に集中することができるとか思います。これは自分の場合大きな違いとして現れました。また、想定外ながら非常に良かった点として、やはり英語圏流の考え方というか、肯定的に扱ってくれたこと、またそのように考えるようこちらにもアドバイスをしていただけただけことが挙げられるかと思うと思います。プ

